

# I 調査結果の概要

### 1 漁業・養殖業生産量

平成 23 年の我が国の漁業・養殖業の生産量は 476 万 5,972 t で、前年に比べ 54 万 6,715 t (10.3%) 減少した。

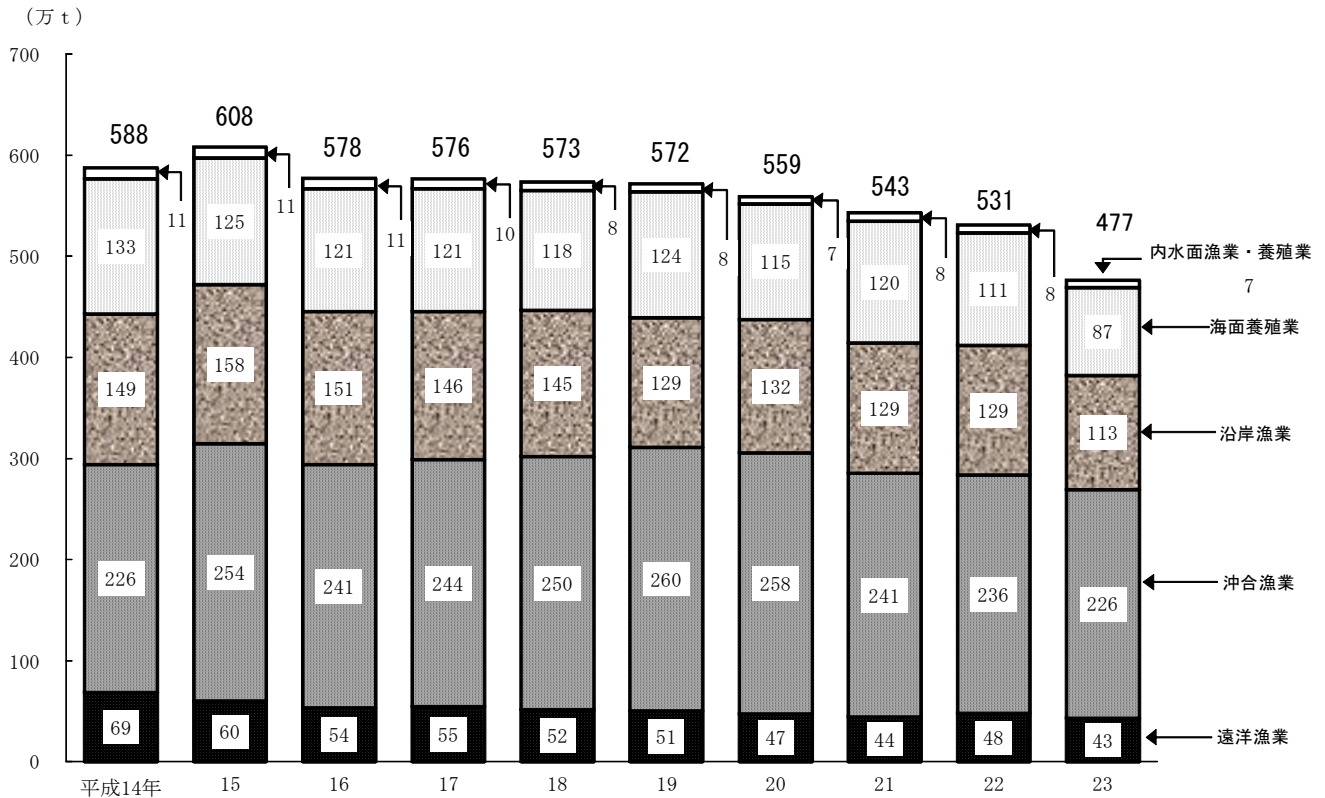
これは、東日本大震災の影響により海面漁業・養殖業において、漁船や養殖施設等に甚大な被害を受けた地域において生産量が大幅に減少したこと等による。

このうち、海面漁業の漁獲量は 382 万 4,099 t で、前年に比べ 29 万 8,003 t (7.2%) 減少した。

これを部門別にみると、遠洋漁業は 43 万 788 t で、前年に比べ 4 万 9,286 t (10.3%) 減少、沖合漁業は 226 万 4,265 t で、前年に比べ 9 万 2,075 t (3.9%) 減少、沿岸漁業は 112 万 9,046 t で、前年に比べ 15 万 6,642 t (12.2%) 減少した。

また、海面養殖業の収穫量は 86 万 8,720 t で、前年に比べ 24 万 2,618 t (21.8%) 減少した。内水面漁業・養殖業の生産量は 7 万 3,153 t で、前年に比べ 6,094 t (7.7%) 減少した。

図 1 漁業・養殖業生産量の推移



注：表示単位で四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない。

## (1) 海面漁業

海面漁業の漁獲量は 382 万 4,099 t で、前年に比べ 29 万 8,003 t (7.2%) 減少した。

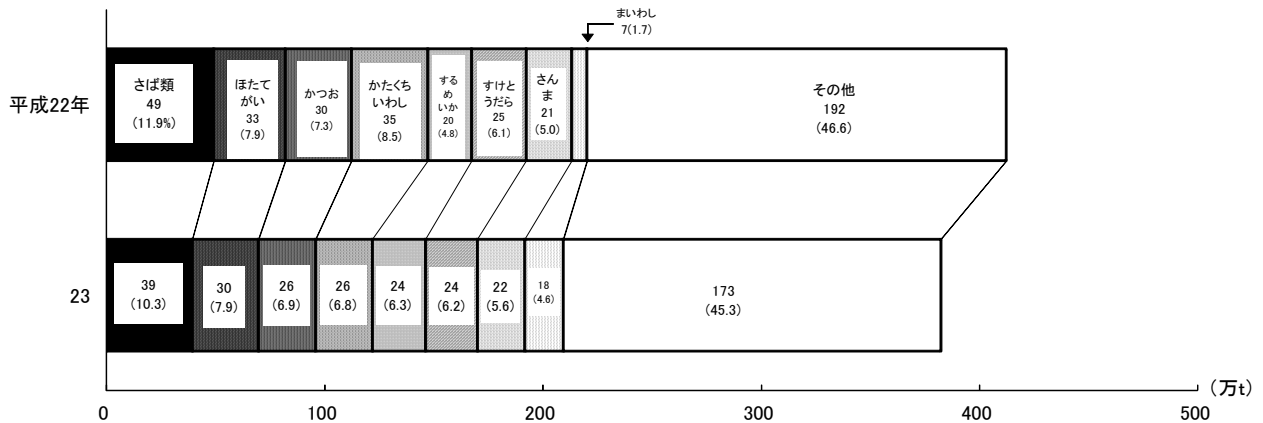
これは、東日本大震災の影響により、漁船や漁港施設に甚大な被害を受けた地域において漁獲量が減少したこと等による。

## ア 主要魚種別漁獲量

海面漁業の魚種のうち、漁獲量が前年に比べて増加した主な魚種は、まいわし、するめいか、うるめいわし、まあじ、さんまであり、減少した主な魚種は、さば類、かたくちいわし、かつお、おきあみ類、さけ類であった。

この結果、海面漁業の漁獲量に占める主要魚種の割合は、さば類が 10.3%、ほたてがいが 7.9%、かつおが 6.9%、かたくちいわしが 6.8%、するめいか 6.3%、すけとうだらが 6.2%、さんまが 5.6%、まいわしが 4.6% となった。

図2 海面漁業主要魚種別漁獲量



## (ア) さば類

漁獲量は 39 万 2,506 t で、前年に比べ 9 万 9,307 t (20.2%) 減少した。

これは、中・小型まき網等による漁獲量が増加したものの、大中型その他の1そうまき網、大型定置網等が減少したためである。

## (イ) ほたてがいがい

漁獲量は 30 万 2,990 t で、前年に比べ 2 万 4,097 t (7.4%) 減少した。

これは、小型底びき網等による漁獲量が減少したためである。

## (ウ) かつお

漁獲量は 26 万 2,135 t で、前年に比べ 4 万 716 t (13.4%) 減少した。

これは、沿岸かつお一本釣等による漁獲量が増加したものの、近海かつお・まぐろ1そうまき網、遠洋かつお・まぐろ1そうまき網、近海かつお一本釣等による漁獲量が減少したためである。

## (エ) かたくちいわし

漁獲量は 26 万 1,594 t で、前年に比べ 8 万 9,089 t (25.4%) 減少した。

これは、大型定置網、中・小型まき網、大中型2そうまき網、大中型その他の1そうま

き網等による漁獲量が減少したためである。

(オ) するめいか

漁獲量は 24 万 2,262 t で、前年に比べ 4 万 2,430 t (21.2%) 増加した。

これは、大中型 2 そうまき網等による漁獲量が減少したものの、沿岸いか釣、小型定置網、さけ定置網等による漁獲量が増加したためである。

(カ) すけとうだら

漁獲量は 23 万 8,920 t で、前年に比べ 1 万 2,246 t (4.9%) 減少した。

これは、沖合底びき網 1 そうびき等による漁獲量が増加したものの、その他の刺し網、沖合底びき網 2 そうびき等による漁獲量が減少したためである。

(キ) さんま

漁獲量は 21 万 5,353 t で、前年に比べ 7,865 t (3.8%) 増加した。

これは、さんま棒受網等による漁獲量が増加したためである。

(ク) まいわし

漁獲量は 17 万 5,781 t で、前年に比べ 10 万 5,622 t (150.5%) 増加した。

これは、中・小型まき網、大中型その他の 1 そうまき網、大中型 2 そうまき網等による漁獲量が増加したためである。

図 3 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移 (上位 1 位 ~ 4 位)

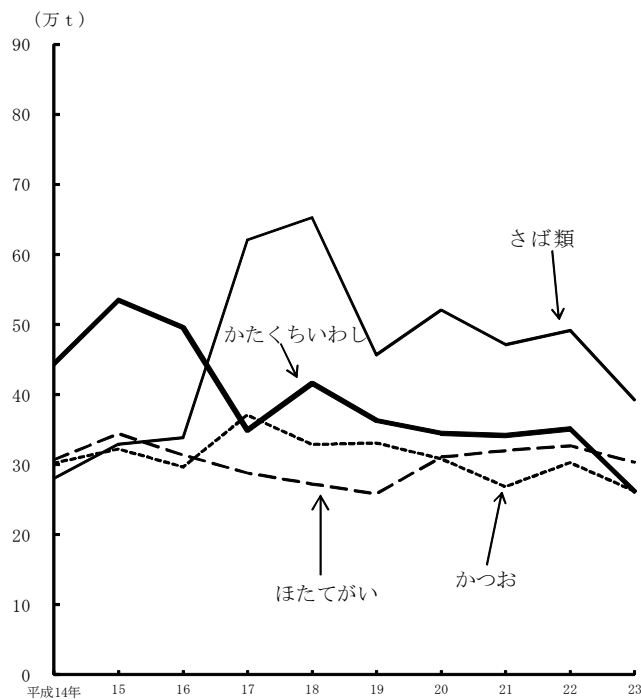
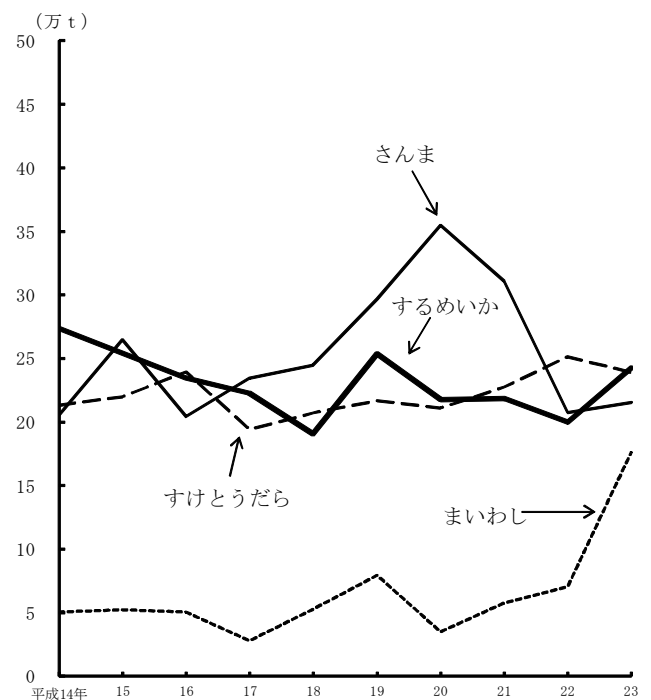


図 4 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移 (上位 5 位 ~ 8 位)



## (2) 海面養殖業

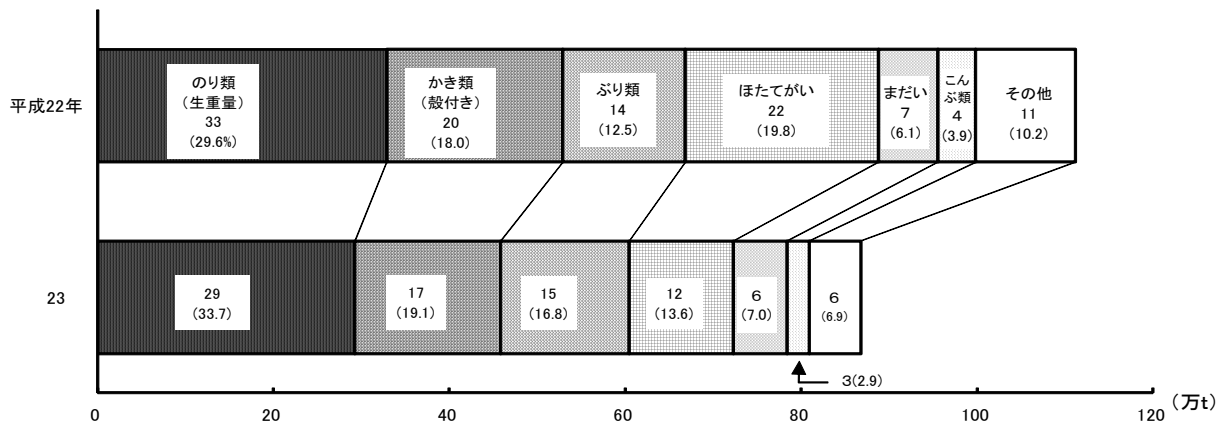
海面養殖業の収穫量は86万8,720 tで、前年に比べ24万2,618 t (21.8%) 減少した。

これは、東日本大震災の影響により、養殖施設に甚大な被害を受けた地域において収穫量が減少したことによる。

海面養殖業の魚種のうち、収穫量が前年に比べて増加した主な魚種は、ぶり類、もずく類等であり、減少した主な魚種は、ほたてがいがい、のり類、かき類、わかめ類等であった。

この結果、海面養殖業の収穫量に占める主要魚種の割合は、のり類が33.7%、かき類(殻付き)が19.1%、ぶり類が16.8%、ほたてがいが13.6%、まだいが7.0%、こんぶ類が2.9%となった。

図5 海面養殖業主要魚種別収穫量



### ア 魚類

収穫量は23万1,606 tで、前年に比べ1万4,106 t (5.7%) 減少した。

#### (ア) ぶり類

収穫量は14万6,240 tで、前年に比べ7,304 t (5.3%) 増加した。

これは、大分県、熊本県等で増加したためである。

#### (イ) まだい

収穫量は6万1,186 tで、前年に比べ6,421 t (9.5%) 減少した。

これは、三重県、熊本県等で減少したためである。

#### (ウ) ぎんざけ

収穫量は116 tで、前年に比べ1万4,650 t (99.2%) 減少した。

### イ 貝類

収穫量は28万4,929 tで、前年に比べ13万5,803 t (32.3%) 減少した。

#### (ア) かき類 (殻付き)

収穫量は16万5,910 tで、前年に比べ3万4,388 t (17.2%) 減少した。

これは、宮城県、岩手県等で減少したためである。

#### (イ) ほたてがいがい

収穫量は11万8,425 tで、前年に比べ10万1,224 t (46.1%) 減少した。

これは、青森県、北海道等で減少したためである。

図6 海面養殖業魚種別収穫量の推移（魚類）

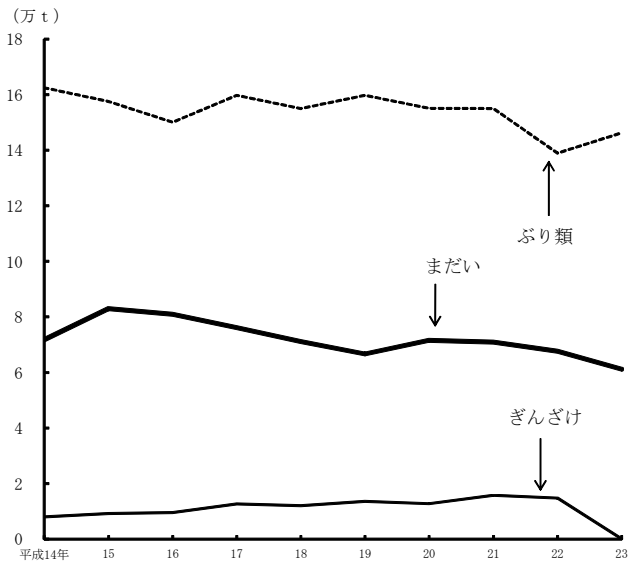
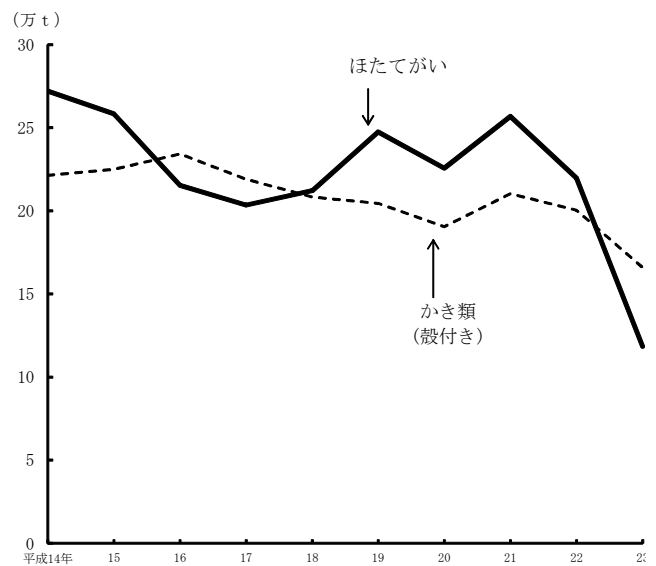


図7 海面養殖業魚種別収穫量の推移（貝類）



ウ 海藻類

収穫量は34万9,738 tで、前年に比べ8万3,058 t（19.2%）減少した。

(ア) のり類（生重量）

収穫量は29万2,345 tで、前年に比べ3万6,355 t（11.1%）減少した。

これは、兵庫県、宮城県、千葉県等で減少したためである。

(イ) こんぶ類

収穫量は2万5,095 tで、前年に比べ1万8,156 t（42.0%）減少した。

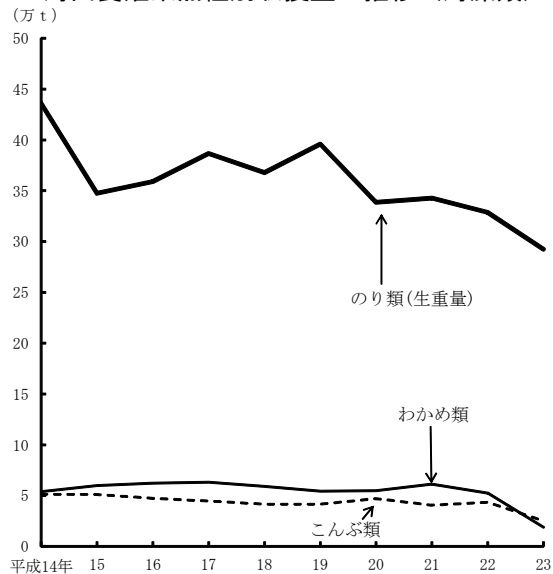
これは、岩手県、北海道、宮城県等で減少したためである。

(ウ) わかめ類

収穫量は1万8,751 tで、前年に比べ3万3,642 t（64.2%）減少した。

これは、岩手県、宮城県等で減少したためである。

図8 海面養殖業魚種別収穫量の推移（海藻類）



(3) 内水面漁業

内水面漁業（全国の主要 108 河川及び 24 湖沼）の漁獲量は 3 万 4,260 t で、前年に比べ 5,584 t（14.0％）減少した。

ア 河川・湖沼別漁獲量

河川における漁獲量は 1 万 7,166 t で、前年に比べ 3,234 t（15.9％）減少した。

また、湖沼における漁獲量は 1 万 7,095 t で、前年に比べ 2,349 t（12.1％）減少した。

イ 主要魚種別漁獲量

(ア) さけ類

漁獲量は 1 万 584 t で、前年に比べ 1,996 t（15.9％）減少した。

これは、北海道、岩手県等で減少したためである。

(イ) しじみ

漁獲量は 9,241 t で、前年に比べ 1,948 t（17.4％）減少した。

これは、青森県等で増加したものの、島根県、茨城県等で減少したためである。

(ウ) あゆ

漁獲量は 3,068 t で、前年に比べ 354 t（10.3％）減少した。

これは、滋賀県、茨城県等で減少したためである。

(エ) わかさぎ

漁獲量は 1,444 t で、前年に比べ 523 t（26.6％）減少した。

これは、青森県等で減少したためである。

(オ) ふな

漁獲量は 700 t で、前年に比べ 78 t（10.0％）減少した。

これは、茨城県等で減少したためである。

図9 内水面漁業主要魚種別漁獲量

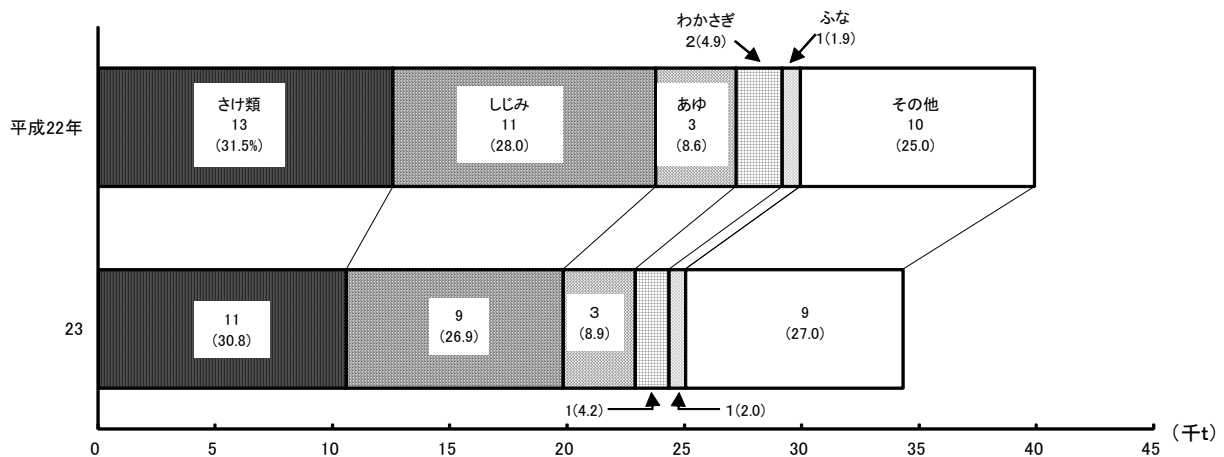
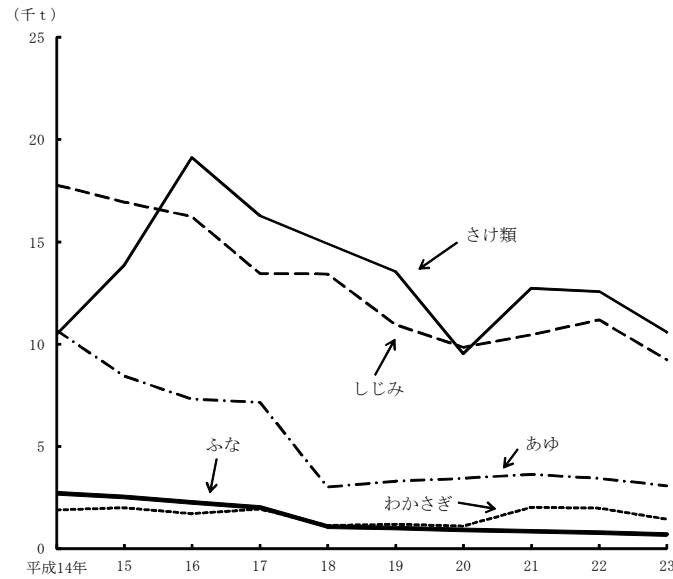


図 10 内水面漁業主要魚種別漁獲量の推移



(4) 内水面養殖業

内水面養殖業の収獲量は3万8,893 tで、前年に比べ510 t (1.3%) 減少した。

ア うなぎ

収獲量は2万2,006 tで、前年に比べ1,463 t (7.1%) 増加した。

これは、愛知県、宮崎県等で増加したためである。

イ にじます

収獲量は5,406 tで、前年に比べ696 t (11.4%) 減少した。

これは、長野県、静岡県等で減少したためである。

ウ あゆ

収獲量は5,420 tで、前年に比べ256 t (4.5%) 減少した。

これは、和歌山県、愛知県等で減少したためである。

エ こい

収獲量は3,133 tで、前年に比べ559 t (15.1%) 減少した。

これは、福島県等で減少したためである。

図 11 内水面養殖業主要魚種別収獲量

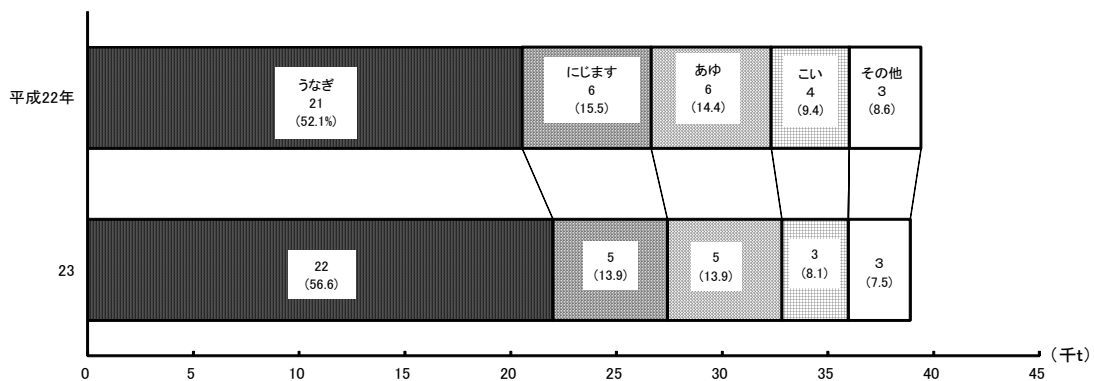




図 12 内水面養殖業主要魚種別収穫量の推移

